

自動車同乗中（6才未満幼児）のチャイルドシート使用有無別死亡重傷率（平成17年）
（警察庁資料）

		死傷者数			死亡重傷率		
		死者数	重傷者数	軽傷者数		平成16年	
チャイルドシート使用	適正使用	5	44	6,627	6,676	0.73%	0.84%
	不適正使用	2	36	1,102	1,140	3.33%	2.08%
小計		7	80	7,729	7,816	1.11%	1.05%
チャイルドシート不使用		14	91	4,829	4,934	2.13%	2.31%
使用不明		0	3	285	288	1.04%	1.39%
合計		21	174	12,843	13,038	1.50%	1.54%

（注）

1. 「適正使用」とは、チャイルドシートが自動車に適正に固定され、かつ、幼児等がチャイルドシートを適正に使用している場合をいう。
2. 「不適正使用」とは、事故によりチャイルドシートがシートベルトから完全に分離している場合、幼児等がチャイルドシートから飛び出した場合等をいう。
3. 死亡重傷率＝（死者数＋重傷者数）（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

チャイルドシート取付け状況調査（平成17年6月）
（警察庁・（社）日本自動車連盟）

○幼児用シート（前向き取付け）におけるぐらつきの程度

	台数	比率
しっかり取付け（3cm以内）	611	37.7%
少し緩みあり（3cm超10cm以内）	661	40.8%
かなり緩みあり（10cm超）	347	21.4%
合計	1,619	—